

令和元年度12月定例教育委員会会議

- 開催日時 令和元年12月19日(木)
午後1時30分～午後2時36分
- 開催場所 鹿嶋市役所 3階 303会議室
- 出席委員 教育長 川村 等
教育長職務代理者 岡見 文彦
委員 原 キミ
委員 大槻 啓子
委員 大崎 千帆
- 欠席委員 委員 信樂 哲
- 事務局出席者 教育委員会事務局部長 佐藤由起子
教育委員会事務局次長 大須賀規幸
教育委員会事務局次長兼国体推進担当参事 宮崎 正明
総務就学課長 鈴木 欽章
幼児教育課長 堤 芳隆
教育センター所長 小室 富保
教育指導課副参事 錦織 一宏
社会教育課長 東峰由美子
国体推進室長 山口 和範
中央図書館長 飯塚 貴子
中央公民館長 増田由紀子
総務就学課副参事 久保美由紀
総務就学課主事 横田 友人
- 議 事

1 議 案

非公開 議案第38号 職員の人事（1月1日付け職員異動）について
（総務就学課）

2 報告議案

非公開 報告第17号 県費負担教職員の人事について （教育指導課）
公開 報告第18号 議案に対する同意の専決について （総務就学課）

3 協議・報告事項

公開 県費負担教職員の兼務辞令について
公開 令和2年度入学者指定学校変更の審査結果について
公開 令和2年度公立幼稚園・平井認定こども園（1号認定）の応募状況について

4 その他

※非公開の議案等については、会議録は公開されません。

○ 会議録

1 開会

教育長から開会が宣言された。

2 議事録署名人の指名

大槻 啓子委員が指名された。

3 議 案

【非公開】

議案第38号 職員の人事（1月1日付け職員異動）について
（総務就学課） 1月1日付け，鹿嶋市職員の人事異動を承認するもの。

※ 議案第38号については，原案どおり可決された。

報告第17号 県費負担教職員の人事について

（教育指導課） 令和元年1月1日付け県費負担教職員の人事異動について，
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第38条の規定に基づき，茨城県教育委員会への内申に関し，承認する。

※ 報告第17号については，原案通り承認された。

【公開】

報告第18号 議案に対する同意の専決について

（総務就学課） 令和元年第4回鹿嶋市議会定例会議案の中で，教育委員会に関する部分について同意をするもの。

【主な質疑・意見等】

特になし

※ 報告第18号については，原案通り承認された。

4 報告・協議事項

・県費負担教職員の兼務辞令について (教育指導課)

【主な質疑・意見等】

特になし

・令和2年度入学者指定学校変更の審査結果について (総務就学課)

【主な質疑・意見等】

(委員) 審査基準の1番から13番があるが、事由としてこの中で一番多かったものはどれか。

(総務就学課) 小学生と中学生で異なるが、小学生については6番のすでに姉・兄が指定校変更している場合や、3番の下校後保護者が就労等で不在の留守家庭において、祖父母宅へ帰宅する場合であることが多い。また、中学生で今年度一番多いのは、今回の規則改正で新たに条項に加えた12番の卒業した小学校の通学区域が指定されている中学校に進学を希望する場合である。本来であれば、住所から指定中学校が決まるが、改正により、卒業した小学校が指定されている中学校へ進学することが可能となった。

(教育長) 指定学校変更で認められなかった者は、その後も問題はないか。

(総務就学課) 話し合いをし、保護者の方も納得している。

(委員) 高松中学校を見たら、それなりの件数があつて、やはり小中一貫の効果、期待が出ている感じがある。

・令和2年度公立幼稚園・認定こども園（1号認定）の応募について (幼児教育課)

【主な質疑・意見等】

(委員) 定員に達しているのが平井認定こども園のみで、ほとんどのところで定員に達していない。例えば、同じ鹿嶋市内の3歳児で、私立の幼稚園あるいは保育園という選択肢があり、そちらを選んでいると思うのだがその比率はどのようなものか。

- (幼児教育課) 具体的な数字は把握をしていないが、今回の無償化に伴って、3歳児が無償化の対象となるということで、私立の保育園に人気が出ている。なお、私立の幼稚園は認定こども園へ移行したので、市内には私立の幼稚園は無い状況である。
- (委員) 認定こども園に移行した鹿島幼稚園とこじか幼稚園は、保育園のように、保護者が仕事をしている人も認定こども園に入れている人も多いということか。
- (幼児教育課) そういうことである。
- (教育長) 実態として人数を見れば幼稚園の部分がほとんど変わっていないというわけか。4歳児と比較した時にほぼ変わりはない。
- (幼児教育課) 約80名ほどである。前年度もだいたい80名で人数には変わりはない。
- (委員) 私立の幼稚園は公立の幼稚園と違って特色はあるのか。例えば知育教育等はあるのか。
- (幼児教育課) 特徴のあるところもある。例えば自然の中での保育を重視して公立も同じであるが地産地消というか自分たちで育てたジャガイモを、お昼ご飯やおやつにしたりする園があったり、林の中で自然と直接触れ合うような特徴的な保育園が人気で応募も多い。
- (委員) テレビで見たことだが、園内にネイティブの先生がいて、全ての時間に英語を使っているという幼稚園があり、その園児が英検3級を受かったというものだったが、そこまでの知育教育に特化しているような特徴をもつ園は鹿嶋市にはないのか。
- (委員) 保育を行う中で、選択で習い事を行っている園はある。

- (岡見委員) 一番オーソドックスな教育をするのが公立であって、色々工夫して何でもやるのは私立に任せて、公立は公立の基本的な部分を担っていけば良いのではないかと思う。
- (委員) 私立を認定こども園化するにあたり、園舎等も新しくなり評判が良いという話を聞いたが、公立の幼稚園は市の方で園長や保護者からの要望を受け入れてもらい、3歳児の幼稚園の受け入れが開始されたので人数が確保出来ている。この3歳児保育が進まなければ更に公立幼稚園の人数が減ってしまう。公立幼稚園を望んでいる市民もいる。
- (委員) 他の市で幼稚園児の3歳児を預かっている市町村が少なく、充足率が非常に少なく20～30%という県内の地域もあり、3歳児保育を今後導入しようとする動きが出てきている。
- (教育長) 公立に期待されるものは施設だけではないということが分かる。
- (委員) 今年は説明会があったかと思うが、影響は出ているのか。
- (幼児教育課) 説明会は主に影響が大きい三笠幼稚園、波野幼稚園、大船津保育園区域で行った。波野幼稚園では、代々入園しているので、存続して欲しいとの意見があり、教育意識が高いとの認識を受けた。
- (教育長) 計画の中では三笠幼稚園と波野幼稚園を統合するが、その分の定員は確保しなくてはならない。

5 その他

- ・第45回鹿嶋市駅伝大会について
- ・鹿嶋市成人式について
- ・豊郷公民館 優良公民館賞の受賞内定について

【質疑・応答】

- (委員) その他の案件に関係はないが、鹿嶋市の小中学生のスマートフォンの所有率を伺いたいのと、各学校はスマートフォンに対してどのような対応をしているか。子ども達がSNSによって巻き込まれる事件などを鑑みて、小中学校に対してアクションを取っているか。
- (総務就学課) 基本的には小中学校ともに持ち込みは許していない。自宅で持っている子どもが非常に多い。社会教育課でメディア教育指導員を各学校に派遣してフィルターのやり方などを教えている。基本的に学校に任せて、子ども達や保護者を対象にして、指導を行っている。
- (教育センター長) 中学校の入学説明会の際に保護者を対象に行っている。
- (委員) 小中学校の先生方からは、このことで困っているという相談はないか。
- (教育センター長) 個別に受けることはある。課金のゲームをし過ぎる夜通し携帯電話のゲームなどをやることによって、昼夜が逆転しているなど相談も受ける。
- (委員) 登下校中の安全のために、学校と保護者の間で連携をして、学校にいる間は職員室で預かってもらうなど個別の対応もしている。また、各携帯電話会社が啓発事業を行っており、各学校で講師を呼んで、取り組んでいる。

・鹿嶋市教育委員会関係日程

6 閉 会

教育長から閉会が宣言された。